

重要港湾 岩国港

岩国港は、山口県の最東端に位置し、島根、広島両県の一部を包含する流通港として重要な役割を担っています。

本港は、1600年、吉川藩が今津川河口に水軍のための物揚場を築造したことに始まり、その後、繊維、パルプ、紡績工業などの企業が立地するに及んで近代港湾に脱皮しました。戦後、昭和27年に重要港湾の指定を受け、旧陸軍燃料基地跡地に全国に先駆けて石油コンビナートが形成され、瀬戸内海工業地帯の一翼を担う工業港として発展してきました。

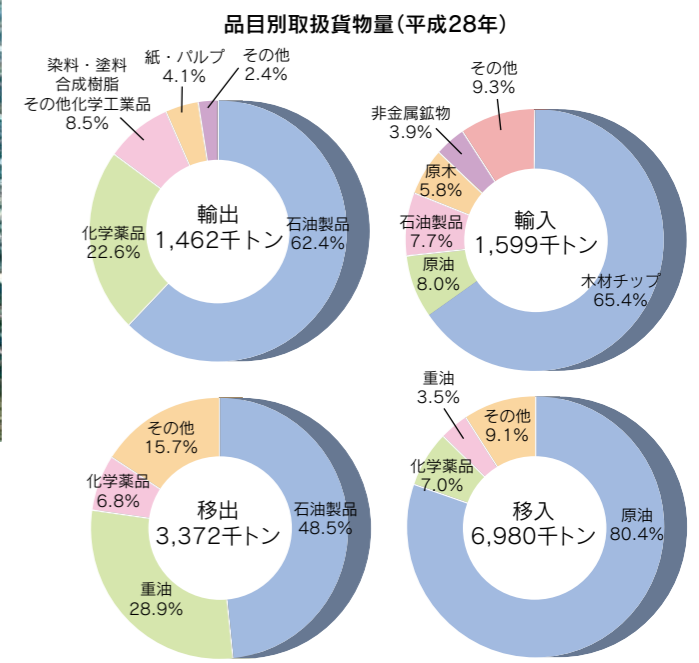
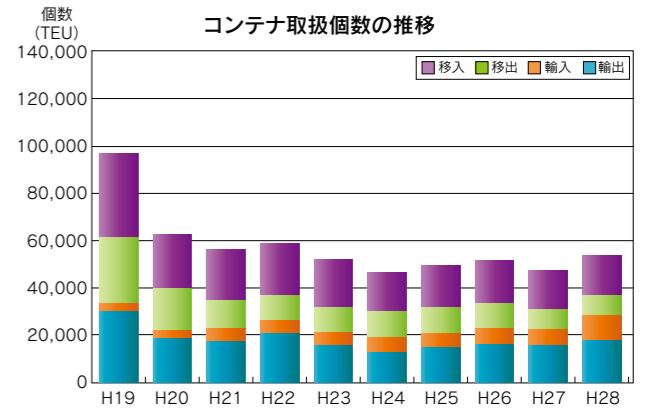
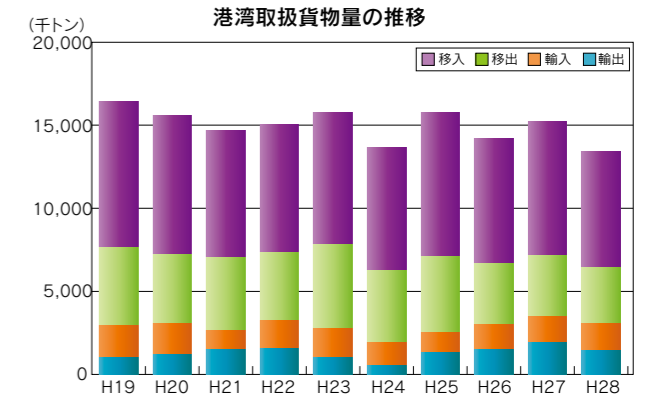
平成4年に東南アジアを中心とした外貿コンテナ航路が開設されて以降、輸出貨物のコンテナ化が進んでおり、現在では週5便の外貿コンテナ航路が就航しています。

本港は、広島湾に面して全般に水深が深く、瀬戸内本

航路に隣接していることから、大型船の入港が容易であり港湾条件に恵まれています。現在の港湾施設は、コンテナとバラ貨物が混在していること、危険物の取扱が多いこと、小型船の安全な泊地がないことなどの問題点があることから、取扱貨物の特性に応じた機能分離と保全整備の強化を行い、流通貨物取扱港としての商港機能の強化を図ることとしています。特に、平成16年度から、円滑な港湾物流輸送の確保、各埠頭の効率的活用を図るため、臨港道路の整備を進めています。

PRポイント

- ・木材チップ輸入量 全国第9位（2016年実績）
- ・国道2号に近接するコンテナターミナル



沿革

- 慶長 5年 (1600) 吉川広家今津川河口に物揚場築造。
- 昭和 7年 (1932) 装束地区に物揚場建設。
- 16年 (1941) 装束地区に-9m岸壁建設。
- 23年 (1948) 関税法に基づき開港決定。
- 27年 (1952) 港湾法に基づく重要港湾に指定。
- 34年 (1959) 港湾計画策定
- 35年 (1960) 検疫法に基づく免疫港に指定。
- 37年 (1962) 植物防疫法に基づく植物防疫港に指定。
- 38年 (1963) 新港地区に-5.5m岸壁完成。
- 48年 (1973) 室の木地区に木材取扱の-10m岸壁完成。
- 50年 (1975) 装束地区に-10m岸壁完成。
- 63年 (1988) 岩国・松山間に高速旅客船航路開設。
- 平成 元年 (1989) 新港地区に-10m岸壁完成。
- 4年 (1992) 外航コンテナ航路開設。
- 11年 (1999) タイヤマウント式クレーン完成。
- 12年 (2000) 港湾計画改訂
- 16年 (2004) 臨港道路整備事業着手
- 20年 (2008) 臨港道路着工
- 23年 (2011) 室の木地区に-12m岸壁、-7.5m岸壁完成
- 26年 (2014) タイヤマウント式クレーン2号機完成
- 28年 (2016) 臨港道路(装束地区～新港地区)供用開始



岩国港へ寄港するクルーズ客船



室の木地区



新港地区

-10m岸壁1バース、-5.5m岸壁2バースの公共施設を整備しており、原木や紙・パルプ等を取り扱っています。また、入港船舶の大型化への対応や港内の取扱貨物の集約による機能分担を図るため整備が行われていた-12m岸壁1バース及び-7.5m岸壁2バースが、平成23年7月に供用開始されました。

地区名	施設名	延長等	備考
室の木地区	岸壁 (-12.0m)	240m (1バース)	
	岸壁 (-10.0m)	185m (1バース)	
	水面貯木場接岸岸壁 (-10.0m)	205m (1バース)	岩国市管理
	岸壁 (-7.5m)	260m (2バース)	
	岸壁 (-5.5m)	180m (2バース)	
	物揚場 (-2.0~-4.0m)	896m	

地区名	上屋名	面積 (㎡)	整備年度	備考
室の木地区	県営室の木上屋	1,413	昭和63年度	



室の木岸壁 (-12m) の荷役状況

岩国港のコンテナターミナルである新港地区には-10m岸壁2バースの背後にタイヤマウント式クレーン2基、上屋2棟が整備されています。平成21年には冷凍コンテナヤード、危険物ヤード、コンテナ洗浄場、コンテナ乾燥ヤードが整備されており、コンテナ関連設備の充実化が図られています。

また、飛鳥Ⅱ、にっぽん丸、ばしふいっくびいなす、といった大型クルーズ船の寄港実績も有しており、クルーズ振興の拠点としても利用されています。

地区名	施設名	延長等	備考
新港地区	岸壁 (-10.0m)	370m (2バース)	
	岸壁 (-7.5m)	260m (2バース)	
	岸壁 (-5.5m)	170m (2バース)	
	物揚場 (-2.0~-4.0m)	744m	

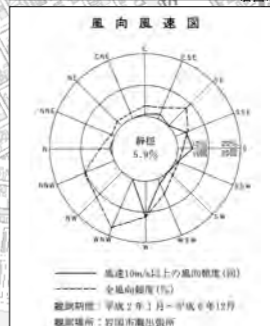
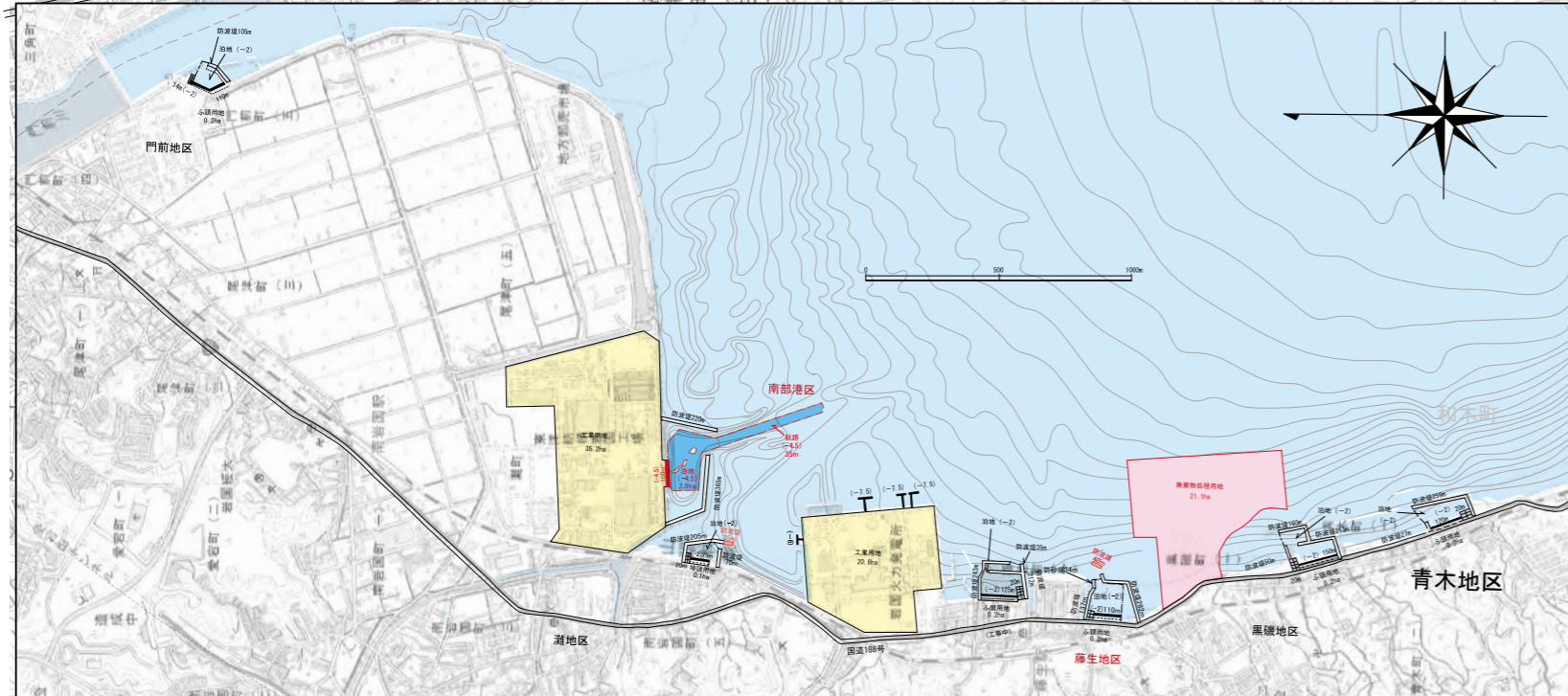
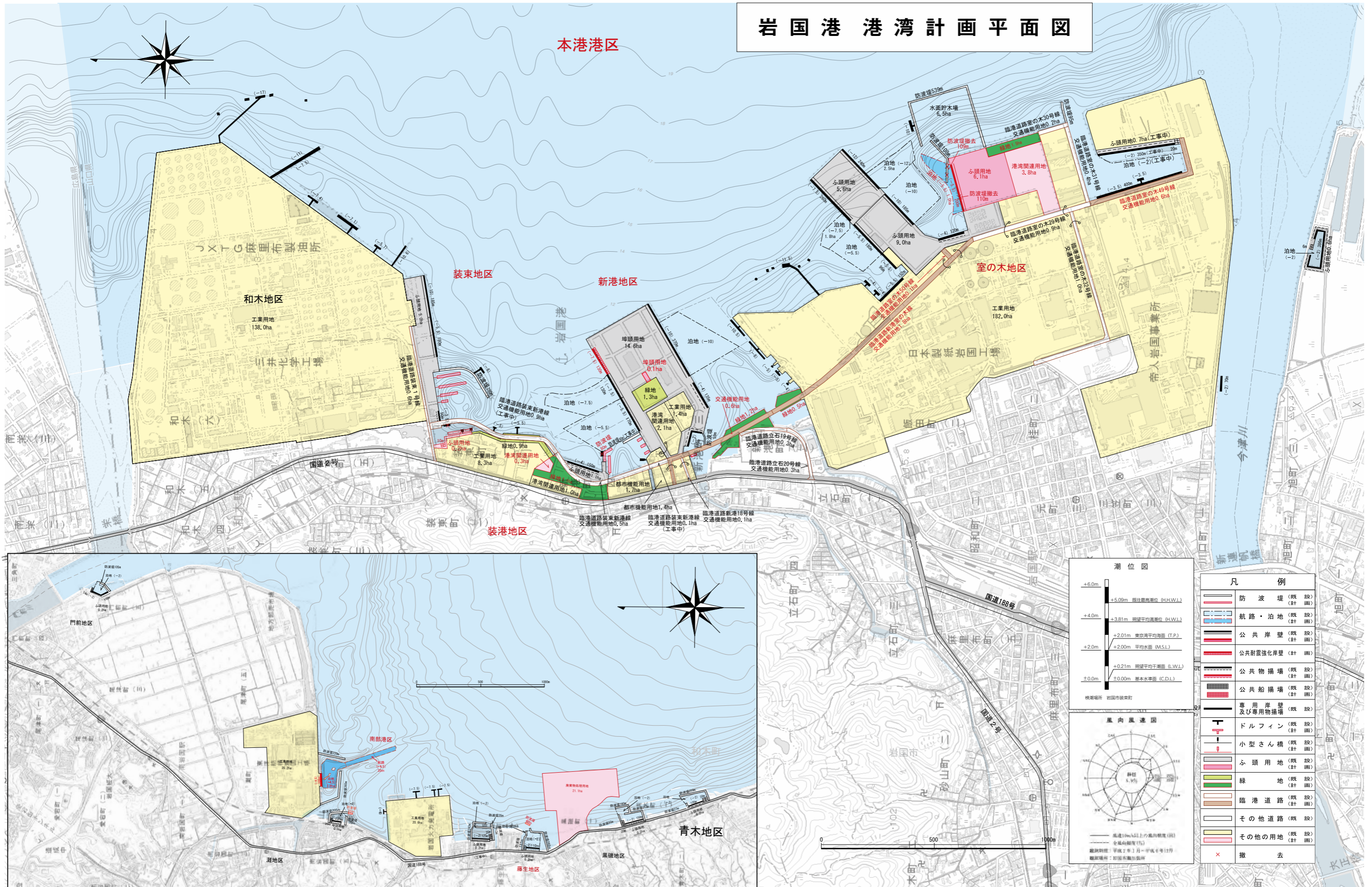
地区名	上屋名	面積 (㎡)	整備年度	備考
新港地区	県営新港上屋	2,600	平成5年度	
	県営新港2号上屋	2,550	平成15年度	

地区名	型式	設置年月	定格荷重	吊上荷重	備考
新港地区	タイヤマウント式クレーン	平成11年10月	39.0t	41.5t	岸壁(-10.0m)、岸壁(-7.5m)
	タイヤマウント式クレーン	平成26年3月	39.0t	41.5t	岸壁(-10.0m)、岸壁(-7.5m)



新港南岸壁 (-10m) の荷役状況

岩国港 港湾計画平面図



凡例	
[Symbol]	防波堤 (既設)
[Symbol]	航路・泊地 (既設)
[Symbol]	公共岸壁 (既設)
[Symbol]	公共耐震強化岸壁 (計画)
[Symbol]	公共物揚場 (既設)
[Symbol]	公共物揚場 (計画)
[Symbol]	専用岸壁及び専用物揚場 (既設)
[Symbol]	ドルフィン (既設)
[Symbol]	小型さん橋 (既設)
[Symbol]	埠頭用地 (計画)
[Symbol]	緑地 (計画)
[Symbol]	臨港道路 (既設)
[Symbol]	その他道路 (既設)
[Symbol]	その他の用地 (既設)
[Symbol]	撤去

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号 平29情複、第1431号)
この地図を第三者がさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。